



# 静小だより



「学校」「家庭」「地域」すべての場で 健全な子どもの育成を めざしましょう。

## 子どもの生活力を高める夏休みに

校長 小泉卓真

早いもので、75日間（6年生は74日間）の1学期も今日で終了します。子どもたち一人一人にとっては、充実した1学期であったと思います。保護者の皆様には、学校行事をはじめ、PTA 活動にも多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。



さて、明日から25日間の夏休みに入ります。子どもたちは、夏休みに向けて、学習や生活の目当てを考えたり、計画を立てたりしたことでしょう。夏休みは、子どもの生活力を高めるよい機会ですので、子どもに求められる『生活スキル』について、考えてみたいと思います。**『生活スキル』とは、生活していくために必要な能力**のことです。通常、子どもは成長する過程でさまざまな経験をしながら、少しずつ『生活スキル』を高めていきますが、『生活スキル』は以下の表のように5つのカテゴリーに分類

されるそうです。そして、保護者が子どもに対して**【体験支援】的な関わり**をしているほど、子どもの『生活スキル』が高くなる

生活スキル	コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>人の話を聞く時に相づちを打つこと</li> <li>自分と違う意見や考えを受け入れること</li> <li>友だちの相談にのったり、悩みを聞いてあげたりすること など</li> </ul>
	礼儀・マナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>素直に、「ありがとう」「ごめんなさい」を言うこと</li> <li>挨拶をしたり、目上や年上の人と話す時に丁寧な言葉を使ったりすること</li> <li>公共の物を大切に、公共の場で適切な行動がとれること など</li> </ul>
	家事・暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>家の人に起こされずに、決めた時間に自分で起きること</li> <li>茶碗や汁椀を正しい位置に配膳すること</li> <li>お金を計画的に使うこと など</li> </ul>
	健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふだんから積極的に体を動かすこと</li> <li>夜ふかしをしないこと</li> <li>朝食をしっかりとること など</li> </ul>
	課題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標達成に向けて努力すること</li> <li>一つの方法がうまくいかなかったとき、別の方法でやってみること</li> <li>トラブルがあったとき、原因を探ること など</li> </ul>

という調査結果もあります。では、**【体験支援】的な関わり**とは、一体どんなものなのでしょう。

それは、

- ♥さまざまなことをできるだけ体験させている
- ♥子どものやりたいことをできるだけ尊重している
- ♥自分の体験したことを子どもに話している
- ♥子どもとスポーツ以外の趣味と一緒に楽しんでいる
- ♥子ども自身でできることは自分でさせている
- ♥家の中のルールや約束事を決めている
- ♥よくほめている など



一方で、「もっとしっかりがんばりなさい」という**【叱咤激励】的な関わり**は、あまり効果がないようです。ようするに、子どもが一人で生きていくために必要な『生活スキル』に関しては、言葉であれこれ指示するよりも、まずは体験と実践。これが一番大切なのでし

ようね。ちょっとした心がけで、**子どもの将来の人間力に差が出る**かもしれません。この機会に、子どもとの関わり方を見つめ直してみたいはいかがでしょうか。そして、子どもたちがいろいろなことを体験し、『生活スキル』を身に付け、生活力が高まる有意義な夏休みとなることを期待しています。

## 「学校閉庁日」設定について

先日の学校便りでも伝えた通り、今年度より北海道立学校全てにおいて「学校閉庁日」が設定されることになりました。本校は、8月8日（水）から10日（金）の3日間の設定となっています。

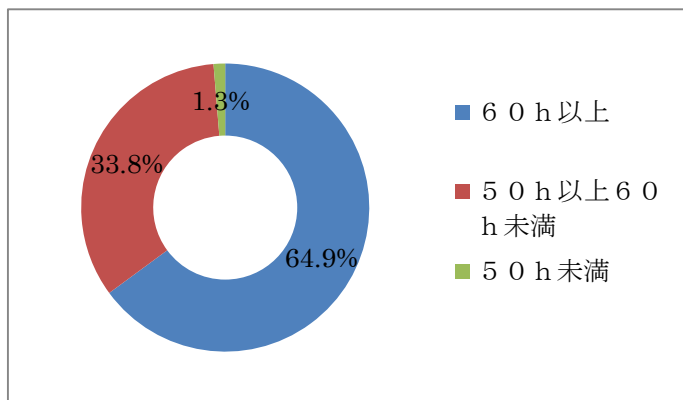
### ◎「学校閉庁日」設定理由①

北海道立学校では、昨今、全国的な話題となっている学校における働き方改革の取組の一つとして、教職員が休養しやすい環境を整備し、心身の健康を保持することを目的に、今年度から「学校閉庁日」の取組を全ての学校で実施します。

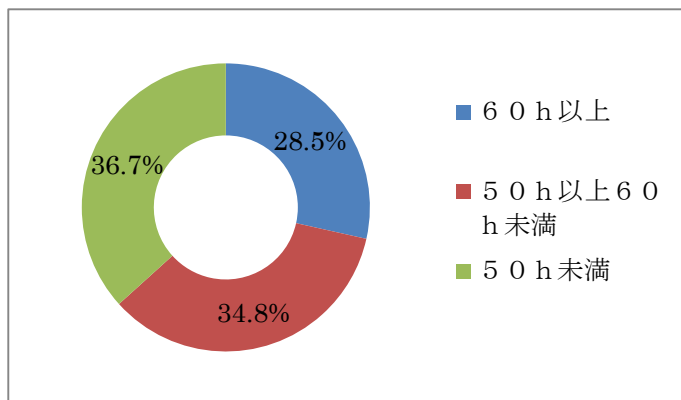
【週60時間以上勤務する教員の割合】（平成28年：北海道教育委員会調査）

### 週60時間以上勤務 ⇔ 過労死ライン相当

◎副校長・教頭



◎主幹教諭・教諭



他にも…

○休日出勤    ○自宅における持ち帰り残業    ○生徒指導等における帰宅時刻の遅れ    等



### ◎「学校閉庁日」設定理由②

教員が、子どもたちの力を最大限に伸ばすためには、長時間勤務を解消し、健康で意欲的に授業等ができる環境づくりが重要になります。

#### 【よくある質問】

(Q1) そもそも学校閉庁日とは何ですか。

(A1) 児童生徒だけでなく、全ての職員が出勤しないようにする日です。主に長期休業中に設定します。

(Q2) 学校閉庁日が増えた分、単に職員の休みの日が増えただけではないですか。

(A2) 閉庁日への対応として、職員は年次有給休暇等を充てます。

(Q3) 学校閉庁日の部活動はどうなりますか。

(A3) 部活動も休養日となります。

#### 【学校閉庁日における緊急連絡先】

○新ひだか町教育委員会 管理課 ☎49-0088 \*ご理解とご協力をお願いします。

## 支え合いを通じて、友達との関係を密にした宿泊学習

先週の19日（木）から2日間、5年生の宿泊学習が行われました。今年度は日高町にある「国立日高青少年自然の家」が学習の場だったので、子どもたちはさまざま活動を通して海に近い自分たちの町との違いを身体全体で感じ取ることができたようです。また、何もかも自分たちの手で活動を進めたり準備したりしなければならない状況のなか、互いに支え合い、励まし合う経験は友達との関係を密にすることができました。

### 【溪流での水遊び】

この日はダムからの放流される水の量が多く、ラフティングができませんでした。代わりに行われた水遊びですが、普段できない飛び込みなどをし、全身ずぶ濡れになるまで遊び尽くしました。



### 【野外炊飯】

テーブル設定や薪を使った火起こしなど、全てにおいて自分たちで準備をしなければなりません。準備から後片付けを終えるまで5時間かかりましたが、どの子も充実した時間を過ごすことができました。「食べることの大変さと喜び」を感じたに違いありません。



◎薪になかなか火が着かず、何度も諦めかけた子どもたち。たくさんの工夫を凝らし、火が着いた時にはいい表情を見せていました。何事もうまく進むばかりでは、多くを感じられないものですね。



### 【ワイルドウォーク】

グループで点数が書かれた看板を探す活動です。川の近くや木々の中を歩く中で、自然の豊かさを身体全体で満喫できました。



### 【パークゴルフ】

施設の裏にあるパークゴルフ場で行いました。若干の霧雨が降る中でしたが、友達と楽しみながらプレイすることができました。

### 【閉所式】

全ての活動が終了し、施設の方を招いて閉所式を行いました。自分たちで立てた3つのめあてをしっかりと振り返りました。



### **◎明日から夏休みが始まります。お子さんへの指導と見守りについてお願いしたいことがあります。**

- ・規則正しい生活をさせてください。特に睡眠時間と朝食摂取は守らせてください。
- ・事故や事件に巻き込まれないためにも、未然防止につながる言葉を日常的に伝えてください。
- ・危険なことが想定される活動や遊びをしないように声かけをしてください。
- ・家庭で決めた約束や、社会におけるルールやマナーを守らせてください。